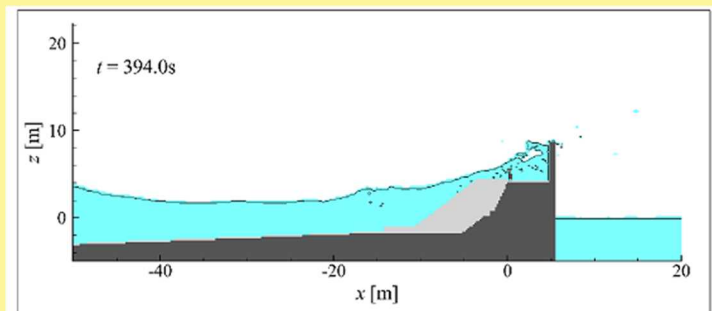


2024 海域港湾空港技術報告会(第11回)

(地盤工学会 CPD プログラム認定)

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産官学の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。

本報告会は全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新技術の情報等を産学官でタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として開催するものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。



日時 2024年2月21日(水) 13:00~17:30

(CPD 交付方法は閉会後にご案内します。)

開催方法 会場とWEB (Microsoft Teams) によるハイブリッド方式

会場：TKP 博多新幹線口 5F プレミアムホール (定員 160 名)

(福岡市博多区博多駅中央街 5-14 福さ屋本社ビル) 受付開始：12 時 20 分～

主催：九州地方整備局港湾空港部

共催：九州大学大学院工学研究院、(公社)地盤工学会九州支部、(一財)沿岸技術研究センター、(一財)港湾空港総合技術センター、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ、博多港ふ頭株式会社、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)港湾空港技術コンサルタント協会、九州港湾空港建設協会連合会

問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課 (担当：宮崎、久保、森山)
TEL 092(418)3380

2024 海域港湾空港技術報告会(第 11 回) プログラム

開会式 13:00 ~ 13:10 <司会> 嶋崎 賢太 (九州地方整備局 港湾空港部 港湾空港企画官)

◆ 開会挨拶 杉中 洋一 (九州地方整備局 副局長)

第 I 部 13:10 ~ 13:45 全国の先進的土木技術の紹介

◆ 吸い出し・陥没を抑止するケーソン目地透過波低減法(ネットパッファ工法)の開発

令和4年度土木学会賞技術開発賞, 第22回国土技術開発賞, 第3回インフラメンテナンス大賞特別賞 受賞
佐々 真志 (国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
地盤研究領域 動土質研究グループ長)

~ 質疑応答 ~

第 II 部 13:45 ~ 14:55 注目度の高い技術的取り組みの紹介

◆ 石炭灰造粒物による沿岸域の水底質環境改善 令和3年度土木学会賞環境賞 受賞

日比野 忠史 (広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授)

~ 質疑応答 ~

◆ 高知県須崎港における生物共生を考慮した港湾整備 令和4年度土木学会賞環境賞 受賞

永友 繁 (三洋テクノマリン株式会社 東京支社技術部 環境コンサルタントグループ グループ長)

~ 質疑応答 ~

~ 休憩 ~

第 III 部 15:10 ~ 17:20 産官学の技術展望

◆ コンテナターミナルのスマート化・グリーン化の現状と課題 一般社団法人港湾空港技術コンサルタント協会 推薦

高橋 浩二 ((一社)港湾空港技術コンサルタント協会 顧問、日本大学客員教授、(株)日本港湾コンサルタント 会長)

◆ 労働環境に配慮した次世代グラブ浚渫船 九州港湾空港建設協会連合会 推薦

六本木 宏一 (九州港湾空港建設協会連合会 (五洋建設株式会社九州支店 土木営業部 担当部長))

◆ 2重パラペット護岸における CADMAS-SURF 検討結果と水理模型実験による検証

藤本 孝浩 (九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所 調査課 課長)

~ 質疑応答 ~

~ 休憩 ~

◆ 「環境 DNA」による高速高解像度生態系観測と沿岸域での社会実装

清野 聡子 (九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 准教授)

◆ コンテナターミナル、データで何が分かるのか

篠田 岳思 (九州大学大学院工学研究院 海洋システム工学部門 教授)

~ 質疑応答 ~

閉会式 17:20 ~ 17:25

◆ 閉会あいさつ

濱田 秀則 (九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 教授)